

モール糸は、特有の構造による外観と感触から秋冬物の衣料に使用されることの多い素材ですが、その構造からくる問題も抱えています。今回は、モール糸のパイルが脱落した事例を紹介いたします。

素材特性に注意

クリーニング処理方法に注意

監修／クリーニング総合研究所

### 衣類の状態

クリーニングから戻ってきたら身頃や衿の一部の柄が違っているとの申し出があったもの。柄を構成しているモール糸のパイルが脱落して、芯糸が露出した状態になっている。主に表面に出ている部分のパイルが脱落し、衿の裏側やポケットフラップ下などに変化は見られない。

理的作用が原因でパイルが脱落したもの。着用摩擦でパイルが脱落しかけた状態のところにクリーニングの作用が加わりパイルが完全に脱落した可能性や、パイルの強度に問題があった可能性なども考えられる。

### 事故の防止対策

モール糸の製造に関しては、摩擦などの物理的作用に対してパイルが抜けにくいように十分な強度を持たせることが望まれる。

### 原因

着用やクリーニング処理での物

クリーニングの受付時には十分な点検を行うとともに、利用者にはパイルが脱落する可能性のあることを説明し、了解を得た上で処理することが必要。

### モール糸

ファンシーヤーン（飾撚糸）の一種。

パイルになる糸を巻き付けた二本の糸（押さえ糸と芯糸）を撚り合わせ、さらに巻き付けた糸をカットしてパイルにしてできあがる。パイルは脱落しないよう熱融着繊維を使って接着する。樹脂の量が多いほどパイルの脱落防止効果が高くなる。

しかし、樹脂の量が多くなるに従いモール糸の風合いが硬くなることから使用量が制限され、パイ

ルの脱落を完全に防止することは困難。また、海外製品には風合い重視のため樹脂が極端に少ない製品もあるとのこと。

クリーニングをする際は裏返して目の細かなネットに入れ、機械的作用をできる限り抑えたソフトな洗いおよび乾燥を行うことが必要。

メーカーによっては注意事項として「ネットを使用する」「独特な風合いを持たせるため、毛羽が抜けやすい構造をしている」「ベルトやバッグなどが長時間同じ所に当たっていると、毛が倒れたり抜けやすくなる」「糸がすべりやすく、引き出されやすい」等の付記表示があるものもあり、クリーニングでの取扱いや利用者への説明資料として有効に活用したい。



ポケットフラップ下など陰になる部分はパイルが残留している



モール糸を使用した婦人ジャケット

- 品名…婦人用ジャケット
- 素材…綿50%、毛46%、レーヨン4%
- 取扱い絵表示…
- 処理方法…石油系溶剤によるドライクリーニング、タンブル乾燥、スチームボックス仕上げ